

研究室 からの メッセージ

150

左から、谷口、河村、丸山、
鈴木、小坂橋、柴田

Data(2017年 6月現在)

所在地：〒260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町673

スタッフ：丸山美知子(教授)、鈴木美和(准教授)、小坂橋恵美子(准教授)、河村秋(講師)、柴田滋子(講師)、谷口由紀子(助手)

URL <http://www.shukutoku.ac.jp/academics/kangoeiyou/kango/>



淑徳大学看護栄養学部看護学科 地域看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、1965(昭和40)年に社会福祉学部社会福祉学科の単科大学として開学し、現在は、6学部11学科を擁する総合大学として展開しています。社会の多様な分野において、他者とともに生きることを願う人材を育成するという目的のもとに教育活動を行っています。

看護栄養学部看護学科は、2007(平成19)年に開設した学科です。1年次から積極的に患者と関わる機会を設け、福祉分野での長い歴史と実績を基盤とした福祉マインドを持った看護職者の育成を目指しています。

Education

どのような教育をしていますか？

「公衆衛生看護学概論」「健康生活支援論Ⅰ」「在宅看護論」を必修とし、保健師課程(30名選抜)の教育に加え、学部共通科目を他領域の教員とともに担当しています。保健師課程では、市町村実習を3年次と4年次の2期に分けて行い、学生は、地域看護診断から保健事業計画の立案・実施・評価の一連のプロセスを2年間かけて学びます。この他、大学近隣住民に対して健康教育を実施させていただくなど、住民と直接関わることを通して住民の多様なニーズを理解し、実践のあり方を考えていきます。

Research

どのような研究をしていますか？

公衆衛生看護学分野では、「大学間連携による保健師業務研究サポートに関する研究」「児童虐待予防因子について」など、現場の保健師への還元が期待されるもの、在宅看護学分野では、「訪問看護師の職務継続とキャリアコミットメントについて」など現場に密接に関連したテーマをはじめ、「障害のある人の居住環境や健康管理に関する実態調査」「幼児の社会・情緒的問題についての尺度作成」など幅広いテーマに取り組んでいます。2016(平成28)年には看護学研究科を開設し、教育・研究者、指導者、看護管理者の養成にも取り組んでいます。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

大学周辺の松が丘地区の住民を対象とした、教員による定期的な健康栄養講話、学生による幼稚園や小学校へのボランティア活動などを継続して行っています。

また、毎年保健師として就職している卒業生と在学生との交流会、実習先である千葉市とは保健師学生実習についての意見交換会などで交流を図りながら、保健活動の現場とのつながりを持っています。2016年度は、花見川区主催の糖尿病ゼロプロジェクトに学生が参加し、絵本を作成しました。

ひとこと

本学キャンパスは自然に囲まれ、複数の医療機関や福祉施設が隣接するという教育環境に恵まれた場所にあります。また、吹き抜けから陽が注ぐ開放的な校舎は、学生が伸び伸びと自由な発想を持ち、学習に集中できる環境です。看護学に加え、栄養学や福祉の知識を身に付け、多職種連携を実現する人材を多くの分野に輩出しています。……鈴木

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp